

貸 借 対 照 表

(2023年 3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(86,432)	(負債の部)	(31,820)
<u>流動資産</u>	71,158	<u>流動負債</u>	19,025
現金及び預金	50,350	未払法人税等	205
前払費用	1,724	未払消費税等	6,464
未収金	19,084	未払費用	3,446
		預り金	919
		賞与引当金	7,990
		<u>固定負債</u>	12,794
<u>固定資産</u>	15,274	退職給付引当金	12,794
有形固定資産	1,450		
工具・器具・備品	1,450		
無形固定資産	324	(純資産の部)	(54,612)
電話施設利用権	324	株主資本	54,612
投資その他の資産	13,500	資本金	10,000
投資有価証券	13,500	資本剰余金	50,000
		資本準備金	50,000
		利益剰余金	△ 5,387
		その他の利益剰余金	△ 5,387
		繰越利益剰余金	△ 5,387
資 産 合 計	86,432	負債純資産合計	86,432

(注) 1. 千円未満は切り捨てて表示しております。

2. 当期純損失 2,825千円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価の方法

① 有価証券

関係会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

② たな卸資産（貯蔵品）

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、翌期支給見込額のうち、当期の計算期間に対応する金額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

② グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用

当社は、当会計年度から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

2. 収益及び費用の計上基準

(1) セキュリティ事業部

ホテル建物内外の監視及び誘導の運営を受託しており、受託期間に対応する受託料を収益として計上しております。

(2) アスレックス事業部

スポーツ施設の経営並びに研究開発、体育指導員の養成や派遣等の運営を受託しており、受託期間に対応する受託料を収益として計上しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額

－ 千円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権

18,990千円

短期金銭債務

457千円

4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上高

156,910千円

仕入高

－ 千円

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式

10 千株

6. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり当期純損失(△)

△282.58円